

「赤毛のアン」特別読書会(新入生)

新入生は入学したばかりの4月11日(月)～15日(金)まで、課題図書『赤毛のアン』の朝読書を行いました。



第1章 レイチェル・リンド夫人の驚き

レイチェル・リンド夫人はアヴォンリーの街道が、小さな窪地へと緩やかに下っていくあたりに住んでいた。…



第8章 アンの教育、始まる

アンをグリーン・ゲイブルズに置くことになったと、本人には翌日の午後まで教えなかった。マリラが最もよく知っている理由からだった。その日は午前中一杯、アンを忙しく働かせ、仕事ぶりに目を光らせていた。昼になるまでには…



第17章 新たな生き甲斐

翌日の午後、アンは台所の窓辺で、うつむいてパッチワークをしていた。ふと、何気なく外に目をやると、ダイアナが手招きを…



第25章 マシュー、パフスリーブにこだわる

マシューにとっては、どうしても居心地の悪い10分間だった。どんよりと曇って寒い12月の夕方、彼は裏口から台所に入ると、隣の薪入れ箱に腰を下ろし、重いブーツを脱いだ…

第32章 合格発表

6月が終わった。これでその年の学年度が終了し、ステイシー先生も、アヴォンリーでの任期を終えた。その夕方、アンとダイアナは、しみりした心持ちで帰ってきた。赤く目を泣きはらし、ハンカチが濡れているところを見ると…

『赤毛のアン』L・M・モンゴメリ作、

松本侑子訳 集英社文庫より。